

医療法人 瑞穂会

川越リハビリテーション病院

いつまでもいつまでも その人らしくあるために



生きるしあわせ、すべてのひとに

MIZUHO Group



医療法人 瑞穂会

ごあいさつ

健やかで安寧な毎日を無事に暮らすことができますように。

当院は「いつまでもいつまでも その人らしくあるために」をミッションに、「生きる幸せをすべての人に。誰もがつながりと支え合いを感じる、やさしい社会づくり」をモットーに、2003年に開院し、地域生活貢献・住民職員満足・創意工夫改善を基にして、「100年続くグループをみんなで作る」を合言葉に、回復期に特化したリハビリテーション医療を担ってきました。新型コロナウイルス感染症の蔓延に対しては、地域住民の方々へのワクチン接種への積極的な関与とアフターコロナの患者さんの受け入れを行ってまいりました。これからも、時代の要請に合わせ、地域に暮らす方々が健康問題を抱えた時に「川越リハビリテーション病院があるから安心」「瑞穂会でよかった」と思ってくださいようなグループを目指します。高齢者や障害を持たれた方が、この街で明るく前向きかつ安寧な社会生活を送れますよう、皆様と共に歩み続けてまいりますので、末永くよろしくお願い申し上げます。



院長 清水 昭

一人ひとりに合わせた社会復帰を目指して。

急性期病院での治療を終了した後、障害を残された患者様に、社会や在宅に復帰し、その人らしい人生を送れるように、積極的なリハビリテーションを提供します。多くの患者様は、高齢のため生活習慣病を有する方が多く、虚血性心疾患や脳血管障害などの循環器疾患や、慢性閉塞性肺疾患などの呼吸器疾患等の既往を有する重症の方もみられます。その医学的治療を継続し、毎日の健康管理を行い個々の患者様が安心してリハビリテーションを受けることができるように努めています。入院早期からリハビリテーションのゴールを予測し、患者様や家族様とも相談しながら退院後の地域医療・介護・福祉サービスなどの活用を提案し、一人ひとりに合わせた社会復帰への支援を実践しています。



副院長 小田嶋 奈津

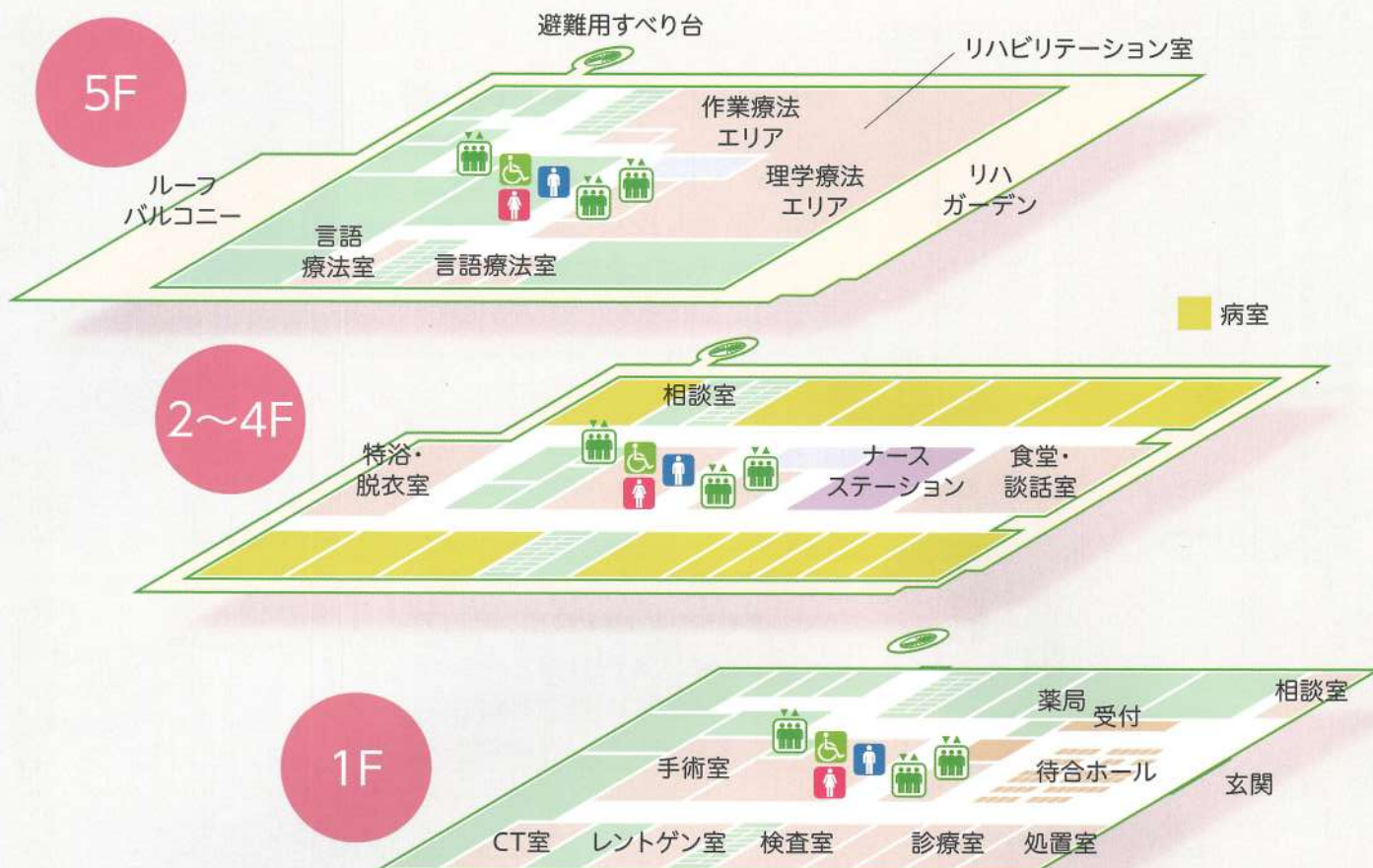
理念

- 一人ひとりの人間性の回復と
生きる喜びと自立を創る
- 地域社会の保健、医療、福祉を守り、
まちの元気を創る
- 自信と誇り溢れる組織を創り職員の
豊かな生活を守る

沿革

- 2003年3月
開設(許可病床 151床)
- 2003年8月
回復期リハビリ病棟1病棟取得 49床
- 2004年8月
回復期リハビリ病棟1病棟取得 49床
- 2006年8月
365日リハビリテーション開始
- 2006年8月
回復期リハビリ病棟1病棟取得 53床
(全病棟取得)
- 2012年7月
入院基本料1取得

フロア案内



グループ案内

瑞穂会が在宅生活を支援します

ご自宅

- ・ デイサービスみずほ
- ・ 通所リハビリテーション瑞穂の里
- ・ 訪問看護ステーションみずほ
- ・ ケアステーションみずほ
- ・ 居宅介護支援事業所みずほ
- ・ 居宅介護支援事業所瑞穂の里
- ・ 地域包括支援センターみなみ

回復期リハビリテーション専門病院
川越リハビリテーション病院

入院

医療療養型病院
城南中央病院

医療・看護・介護と専門的リハビリテーションを融合し、重度な疾患であっても安心して療養できる環境を、ご提供しています。

各施設

- ・ 介護老人保健施設 瑞穂の里
- ・ 介護老人保健施設 志木瑞穂の里
- ・ グループホームみずほ
- ・ サービス付高齢者向け住宅みずほ
- ・ 特別養護老人ホーム 志木瑞穂の森
- ・ 特別養護老人ホーム やすらーじゅ瑞穂



良質な医療環境



理学療法室

理学療法

疾病や障害などによって日常生活動作が難しくなった方に対し、運動療法および物理療法を用いて、諸機能の改善を図ります。また、基本的動作や日常生活活動を改善するための練習、そして社会生活を送る上で不利な要素を少なくするための福祉用具の選定や住宅改修のアドバイスなども協力させていただきます。



作業療法室

作業療法

退院後の生活を想定し、食事や排泄といった日常生活の動作やその方にとって大切な活動(家事動作や趣味活動など)、または職業復帰に向けた支援を行います。また、新たな生活に向けて住宅改修や福祉用具についてのご提案もさせていただきます。



POPO (写真上)

部分免荷トレッドミル (写真中央)
脳卒中や脊髄損傷等でご自身の体重を支えて歩行が難しい方に、早期より体重の負荷を軽減し歩行練習を行える機器になります。



言語聴覚室

言語聴覚療法

脳血管疾患等の後遺症などによりコミュニケーションに問題がある方に対し専門的な検査に基づいたリハビリテーションを提供します。またご家族様を含めた援助を行い、コミュニケーションの面から、豊かな生活の構築を支援します。また摂食嚥下(飲み込み)の問題に対する支援を行います。



アイビス

筋電(筋肉を動かそうとした時に出る電気信号)に応じた電気刺激を与える装置(アイビス)を用いた、麻痺側上肢の治療も行っています。

入院から退院まで

入院

在宅復帰の場合

施設入所の場合

合同評価

入院時にご本人様の自立度を把握し、介助方法をスタッフ間で統一します。

カンファレンス・病状説明

担当スタッフ間の話し合いにより今後の治療、ケア方針を決定し、医師から病状や治療方針のご説明をいたします。

入院生活について

病棟・ナースステーションより

ナースステーション

患者様が笑顔で元の生活に戻れるように支援いたします

看護部は他職種と連携を密にとり、限られた入院期間の中で患者様・ご家族様と共に在宅復帰を目指します。入院生活の全てがリハビリテーションと考えて、安心・安全の看護を行い、個々への対応を大切にしています。「いつまでも、いつまでも、そのひとらしくあるために」を理念に、患者様が笑顔で元の生活に戻れるよう、支援していきます。



病室



ホール



浴室



レクリエーション

入院生活の1日の流れ

7:00	起床、整容・更衣・排泄など
8:00	朝食、整容・排泄など
9:00	リハビリ・自由時間
10:00	↓ 入浴(週2回)・検温
12:00	昼食、整容・排泄など
13:00	リハビリ・自由時間
16:30	↓ 更衣
18:00	夕食、整容・排泄など
19:00	自由時間
21:00	消灯

外出訓練・調理訓練

退院後の生活をイメージし、必要に応じ電車やバスでの外出訓練や調理訓練を行います。

施設・病院紹介

相談員より施設や病院の紹介をいたします。実際に見学に行ってくださいから申し込みとなります。

家屋調査・外泊訓練

生活の自立を助けるために、住宅改修や福祉用具の導入を行った上で、退院前の外泊を行います。

サービス調整会議

ケアマネジャーを中心に、医療・介護・福祉などのサービス提供者を集め、退院後の生活についてご本人様・ご家族様と話し合い、調整を行います。

退院



部門・設備紹介



歯科検診



美容室

月2回理美容師が来て有料でカットをします(カットのみ)



家族教室

家族教室

年2回開催しています。どなたでも無料で参加できます。

(開催例)

- ①脳卒中とは(医師)
- ②食事療法の実際(栄養士)
- ③薬の管理上の注意点(薬剤師)
- ④介護保険とは(ケアマネジャー)・入院から退院までの流れ(相談員)
- ⑤日常生活の介助方法(全2回)(理学療法士・作業療法士)
- ⑥飲み込みの障害(言語聴覚士)



栄養指導



お楽しみメニュー

栄養管理室より

安全で満足度の高い食事を提供いたします

栄養管理室では、嚥下食に取り組み、患者様一人ひとりに合った食事の提供をしています。

また、入院中の患者様・外来の患者様に栄養指導を行っており、特定保健指導に力を入れています。

月1回季節の行事に合った素敵でおいしい食事を提供しています。



薬剤室

薬剤室より

お薬の説明を丁寧に対応いたします

薬剤師が直接患者様のベッドサイドに伺って、お薬の説明を行ったり、お薬に関しての相談を受けたりします。退院後の生活に合わせた服薬方法の提案なども行い、医師や看護師と協力して、より適正な薬物療法が行えるよう活動しています。



部門・設備紹介



医療設備(嚥下内視鏡検査)



CT



レントゲン室



待合ロビー



リハガーデン



装具外来



受付

受付・事務より

安心して医療サービスを受けられるように、
笑顔でご対応いたします

医療専門のスタッフを縁の下の力持ちとして支えるのが事務の役割です。各部署と連携をとり、患者様が安心して入院生活を送れるよう事務的サポートをしていきます。

当院のことでご不明な点などございましたらどんな小さなことでもお気軽にお声がけください。



医療相談室

医療相談室より

医療・介護についてお困りのことがあれば、
お気軽にご相談ください

相談室では入院に関する問い合わせや、介護保険サービス、医療・福祉制度のご案内、その他お困りのことについてお話を伺っています。

相談は無料です。あらかじめお電話を頂ければお待たせすることがありませんのでお気軽にお電話ください。

交通アクセス

広域 マップ



近隣 マップ



電車・バスをご利用の場合

- 東武東上線「川越駅」西口より
- 西武新宿線「本川越駅」より
- 西武新宿線「新所沢駅」東口より

西武バス「新所沢行き(系統:新所02)」利用(所要10分)「八雲神社」バス停下車 徒歩3分
西武バス「新所沢行き(系統:新所02)」利用(所要15分)「八雲神社」バス停下車 徒歩3分
西武バス「本川越行き(系統:新所02)」利用(所要25分)「八雲神社」バス停下車 徒歩3分



お車をご利用の場合

関越自動車道「川越IC」より
約10分



送迎バスをご利用の場合

本川越駅・川越駅・川越リハビリテーション病院・城南中央病院間でバスの送迎を行っています。ご自由にご利用ください。
※日・祝日は運行いたしませんのでご了承ください。
※運行時間についてはホームページをご覧ください。

外来医師

大学病院から来ている専門の医師が診療を行っています。

外来 リハビリ

医師が必要と判断した場合、外来リハビリを受けられます。詳しくは外来受付までお問い合わせください。



カフェのご紹介

病院近く、薬学ゼミナール
学生寮の1階にあります。
平日 10:00~17:00
不定休



医療法人
瑞穂会

川越リハビリテーション病院

〒350-1138 埼玉県川越市中台元町1-9-12

TEL.049-245-3555 FAX.049-245-2288

受付時間 平日 9:00~17:30

診療 科目

内科 ■ 神経内科 ■ 整形外科 ■ リハビリテーション科
■ 脳神経外科 ■ ペインクリニック

診療 時間

月曜~土曜

9:00~12:00(受付/8:30~)
14:00~16:30(受付/13:30~)

休診日/日曜日、祝日、年末年始

面会時間/9:30~20:00

※20時以降正面入口を施錠しますので、時間内での面会をお願いします。

<https://www.mizuhokai.or.jp/kawagoe-reha/>